



祝 敬老会

9月18日に敬老会を行いました。2階のラウンジにご利用者全員が集まり長寿番付を披露♪最高齢の方は102歳!長寿の秘訣をお伺いすると「嫌いな食べ物がたくさんです」と冗談を交えながらお話され、会場はたくさんの笑いに包まれました!

今年の記念品は『櫛』と『写真立て』をお渡しました。使っていただきたい。敬老会の後は紅白饅頭をおいしくいただきました。

本当にありがとうございました!これからも元気にお過ごしください。

今年は昼食に、施設で炊いた赤飯と地元の割烹から取り寄せた仕出し弁当を、ご利用者の乾杯の音頭とともにいただきました。午後はカラオケ大会を楽しみ、ご利用者の皆さんと一緒に懐かしい曲を歌いました。特に「佐渡おけさ」は歌って踊って大盛り上りました。米寿のお祝いの方は、得意の「岸壁の母」をアカペラで力強く歌い上げ、たくさんの拍手を頂いていました。その後、お抹茶と季節の生菓子を召し上がっていただき皆さまの長寿を祝いました。

今年の敬老会は百寿一名、白寿一名、米寿五名の方々をはじめ、皆さまへ敬意と感謝の気持ちを込めてお祝いをさせていただきました。

素晴らしきこの日のために、職員の余興では練習を積み重ねたソーラン節を披露しました。手拍子をしながら「ソーラン・ソーラン!」と掛け声を掛けて下さつたり、身振り手振りで一緒に踊つて下さつたり、とても賑わいました。

これからも皆さまの末永いご健康を職員一同お祈り申し上げます。

「ともにつくるぽてと」で社会貢献

今年は「ともにつくるぽてと」と名付けて、専用の栽培キットを使用して8・8kgのじゃがいもを収穫しました。

このじゃがいもは長岡市社会福祉協議会和島支所にお届けして、地域の在宅高齢者向けの配食弁当に使用していました。



特養わしまに「ほつと」な入浴を

この夏、特養わしまの浴室に介護用リフトを導入しました。浴槽上部に設置したレールに座面型キャリーを取り付けるもので、座面を移動することにより安定して浴槽に入るることができます。このような介護機器を導入することによって、ご利用者の皆さまにはより安心して「ほつと」入浴していただけるよう環境を整えていきます。

導入に際しては活用方法についての検討や職員同士で練習を重ね、運用手順の習得に努めました。

ともにつくるかだん2024

「共育の道を花じつぱり」をテーマに、今年も花づくり活動に取り組みました。「和島地域を共生のまちへ」をメインコンセプトに掲げ、いくつかの花壇を活動フィールドにして、さまざまな花を育てました。

共育の道沿いの手づくり花壇では、昨年以上の多くの方にご協力いただき、「1,100本のベゴニア」の苗を植えることができました。この他、花苗を植えたプランターをお届けする「サテライトかだん」も展開し、施設内から地域へと活動範囲が広がりました。

ご支援いただきました皆さま方には心より感謝申し上げます。

実践ミーティング

【ともにつくるかだん】プロジェクトのひとつ、実践ミーティングを開催しました。

今年は「和島地域を共生のまちへ」をコンセプトに、私たち職員自身が認知症基本法を学んで、啓発活動に取り組んでいくことの自主勉強会の企画です。

実践を重ね、地域とともに歩み続けてきた私たちにとって、認知症ケアは描いぐことの原点。認知症ケアをさらに深化させていくために学びと実践は欠かせない要素です。

次の実践にどのように生かしていくか…

私たちに出来ることはまだあります。

